

講義名称	日本語教授法Ⅱ	担当教員名	矢端 晴美
科目群	人文学 (HUM)		
科目区分等	日本語	単 位	2
対象学年次	1年・春学期	ナンバリング	HUM182

授業のキーワード	日本語 文法 品詞
授業の概要	日本語を言葉の仕組み=文法という観点から学びます。日本語を初めて学習する人の視線で考えます。
期待される学習成果 (目標)	「国語」文法が苦手だった人、忘れてしまった人は、もう一度わかりやすく学ぶチャンスです。

#### 授業展開

回	テーマ	内 容
1	日本語と国語	日本語を学ぶ・国語を学ぶとはどんな違いがあるのでしょうか。
2	文法とは	文法を学ぶとは何のためにあるか国語教育と日本語教育でその意味を考えます。
3	品詞とは	文法「品詞」について学びます。
4	日本語を教える順序 (第1講) 名詞文	日本語を教える順序・名詞文について学びます。
5	日本語を教える順序 (第2講) 形容詞文	形容詞文について学びます。
6	日本語を教える順序 (第3講) 動詞文1	動詞文について学びます。
7	日本語を教える順序 (第3講) 動詞文2	さまざまな動詞について、導入する注意点を学びます。
8	日本語を教える順序 (第3講) 動詞文3	動詞が。活用する意味、活用のグループ分けを学びます。
9	日本語を教える順序 (第3講) 動詞文4	活用3グループそれぞれのいろいろな活用の仕方を学びます。
10	日本語を教える順序 (第3講) 動詞文5	初級から中級までに学習する活用形の表現について学びます。て形
11	動詞と助詞の関係その1	動詞と助詞について学習者が間違えやすいものについて学びます。
12	動詞と助詞の関係その2	自動詞・他動詞について学びます。
13	動詞と助詞の関係その3	テンスとアスペクト表現について学びます。
14	動詞と助詞の関係その4	あげる・もらう・くれるについて学びます。
15	まとめ	講義全体を振り返り、日本語をどう教えたらよいかまとめます。

定期試験	記述式
授業時間外学習	教科書や参考文献等を積極的に読み進めることが望ましい。
評価方法	定期試験100%
使用する教科書 (必ず購入してください)	「新・はじめての日本語教育1 日本語教育の基礎知識」高見沢孟監修 アスク出版
参考文献	